

「きれいになる」  
だけじゃない!

# 矯正治療のメリット

矯正治療というと「歯並びをきれいにするもの」というイメージが強いですが、じつは、歯がきれいに並び噛み合わせがよくなると、こんなメリットもあるんです!

## いつまでも若々しく!

ある女性の10年間の変化です。①～④のうち、いちばんご高齢のときの写真はどれでしょう?



1



2



3



4

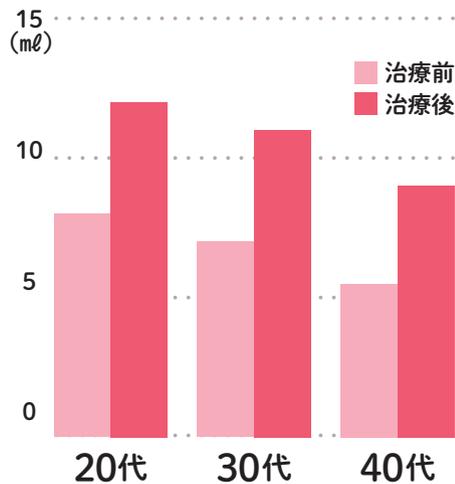
**A** 正解は右下の④。  
それぞれの写真の年齢は以下のとおりです。

- ① 63歳 初診
- ② 65歳 矯正治療終了
- ③ 75歳 矯正治療後10年
- ④ 83歳 矯正治療後18年

①がいちばん若いときで、④がいちばんご高齢のときのお写真です。④はとても若々しい印象で、83歳とは思えません。この秘密は、矯正治療にあります。治療により歯並びが改善し、お口の機能を維持できているからです。

## 唾液の分泌がよくなる!\*

矯正治療前後の唾液分泌量の変化



患者さん72名にご協力いただき、5分間ガムを噛んだときの唾液の分泌量を矯正治療前後で比較。するとすべての年代で矯正治療後のほうが分泌量が増加していました。唾液には消化を助けるアミラーゼや、若返りホルモンといわれるパロチンなど体に有益な物質がたくさん含まれます。唾液がたくさん分泌されれば、体のなかから若返ることになるのです。

## 歯を残せる確率がアップ!



噛み合わせのよしあしは、歯の寿命にも影響します。東京都や千葉市が、80歳で自分の歯を20本残せている「8020」達成者を調査したところ、反対咬合(受け口)や開咬(噛んだときに上下の歯が閉じない)の人は1人もいませんでした。反対咬合や開咬だと、特定の歯だけに過剰な力がかかってしまうため、歯の喪失につながりやすいと考えられます。

監修：東京都・はしば矯正歯科院長 橋場千織

※はしば矯正歯科調べ。

いま一步  
踏み出せない  
あなたへ。

# 矯正治療の疑問にお答え

**Q** 私はもう30代。  
いまさら矯正なんて遅い？

**A** 大人の矯正治療も  
いまは増えていますよ。

矯正治療といえば、お子さんや若い人向けのイメージですが、最近歯の大切さが浸透してきたからか、40代や50代から治療をするかたも増えています。歯は何歳になっても動きますので、**歯槽骨**(歯を支える骨)がしっかりして、歯の状態が良好なかたなら60歳を過ぎていても治療可能です。



**Q** 矯正って  
お金がかかるのがちょっと…。

**A** 矯正治療は  
一生モノです。

矯正治療には保険がきかないため、たしかにお金はかかります。でも、歯並びを悪くままにした結果、セルフケアが行き届かず、むし歯や歯周病になって歯をダメにしてしまうことを考えるとどうでしょう？ 矯正治療は、一生きれいな歯と歯並びでいる助けとなるものなのです。



**Q** やっぱり歯を  
抜かないとダメですか？

**A** 無理に抜かずに並べると、  
問題が残ることも。

歯が並ぶスペースがもともと足りていない場合、抜歯なしで矯正すると、それぞれの歯を外側に傾斜させなくてはなりません。これは一見、きれいに並びますが、口が閉じにくくなったり、噛んだときに斜めになった歯に余分な力がかかるなどの問題が残ります。もともとの歯並びの状態によっては、抜歯なしの矯正はおすすめできないことがあります。



▲前歯が斜めにせり出しています。



▲歯がまっすぐになっています。

**Q** 矯正って、なんで時間がかかるんでしょう？

**A** 歯並びの安定に  
時間が必要だからです。

治療が進むと、パツと見、きれいに歯が並んでいるように見えてきます。ですが、この段階で矯正装置を外すと、今の歯並びがまだ安定していないので、歯が前の状態に戻ろうとしてしまいます。歯をおおまかに動かす治療が済んだら、しっかり骨が固まるまで待つことが大切。くわえて、理想的な噛み合わせになるよう微調整することも必要です。



上/舌側の矯正装置で歯をおおまかに動かす治療が終了。下/微調整ですき間が閉じました。

監修：東京都・はしば矯正歯科院長 橋場千織